

令和3年度第4回安城市地域ケア推進会議

日時 令和3年9月16日(木)
午後1時30分～午後3時
方法 オンライン(42会議室)

1 会長あいさつ

お忙しいところありがとうございます。先月は休会、今回は新型コロナウイルスの感染状況からリモートとなり、皆さまにはご不便をおかけするかもしれませんがご協力をお願いします。来月は集合形式でできたらと思っている。

2 議題

(1) 在宅医療・介護連携推進のための研修会 実施報告(資料1)

・医師会部会

在宅医療サポートセンター)

(資料1-1の通り説明)

会長)

オンラインでのグループワークだったが皆さまのご協力で上手くできた。今後同様の状況下になっても今回のようにすればできることが分かった。

【意見・質問】

(なし)

・グループホーム部会

グループホーム部会)

(資料1-2の通り説明)

【質疑応答】

会長)

リモートでの研修だったが、講師の先生は来られたのか。

グループホーム部会)

先生は自宅からリモートで、最後まで順調に実施できるかヒヤヒヤだった。質問や意見も最後まで拾いきれなかった印象はある。

(2) 在宅医療・介護連携推進に関する薬剤師部会の取り組みについて(資料2)

事務局)

昨年、皆様にご協力いただいた多職種連携に関するアンケート調査の結果から、薬剤師部会が多職種の連携に関する新たな取り組みを検討いただいた。これにより薬局との連携活用のために本日配布した連絡票を作成し（資料2）、昨年11月の推進会議でその活用について周知された。この用紙の活用も含め、多職種の皆さまとの連携の様子について薬剤師部会よりご報告いただく。

薬剤師会部会)

薬剤師部会の多職種連携の取り組みとして「在宅医療・介護連携推進のための連絡票」を作成。薬剤に関する問い合わせをいただく票としたが、数としては少ない。介護の現場で解決できない疑問などについて、ぜひ活用を。お薬手帳に書いてある薬局に直接問い合わせいただき、もしわからない場合は、この用紙を活用してほしい。

<連携事例>

90歳男性、一人暮らし。薬の管理と残薬の心配で訪問看護師から相談。7～8剤を内服している。本人が頑固で、一包化に関する料金を支払いたくないなど拒否あり。診察時に家族が同行して医師に指示をいただき、院外処方してもらうことを助言した。

薬剤師会部会)

連絡票を実際の現場で活かすことは難しいと思う。一般的な質問であれば直接患者との面談で各薬局が対応し、直接言いにくいことを連絡票で。連絡を待つだけではなく、必要であれば訪問や多職種との連携など、積極的な在宅支援を行っていきたい。薬剤師会部会でも職能を活かせるよう、在宅支援の研修をする必要がある。副作用対策、ポリファーマシー問題、服薬管理、残薬、麻薬の供給の問題を理想に近い形で考えていきたい。患者のACPを一緒に考えられる薬剤師に近づけたら良い。

【意見】

保健福祉部会)

地域の薬局にはとてもお世話になっており、何でも相談ができる関係で感謝している。地域ケア地区会議にも出席していただき提案をいただいている。連絡票が必要ないくらい連携が取れている。

会長)

今後も地域での活動を引き続きよろしく申し上げます。

(3) 部会紹介 (資料3)

小規模多機能部会)

(資料3の通り説明)

【意見】

保健福祉部会)

今紹介いただいた事例には地区のコーディネーターも関わっており、小規模多機能ホームには夫婦の状況の変化に柔軟に対応していただき助かっている。店舗が対応に困ってる時、福祉センターの職員で対応できる場合もあるが、サービスの状況により小規模多機能ホームの職員が店に迎えに行かれたり、サービスから帰宅後に次の日の食材を一緒に買い物に行ってくださいることもあり、柔軟できめ細やかな気遣いと対応が非常に助かっている。夫婦の状況が変化する度に対応を修正が必要となった時も、フットワーク軽く相談に乗ってもらい対応していただき感謝している。地域住民の生活は介護保険サービス以外に協力店や事業所、地域住民の協力が欠かせず、横の連携が支え。小規模多機能ホームの一步踏み出した支援が事例の夫婦の生活を支えていると実感し、感謝している。

会長)

地域で支えるためにはフットワークが軽いことが大切だと思うが、まさにそれを実践していただいている。

(4) 情報共有

- ・医療廃棄物の運用変更について

訪問看護ネットワーク部会)

平成17年度からステッカーによる分別と登録制度が開始した。しかし、医療廃棄物の内容が変わってきたこととステッカーの扱いができない利用者がいること、事業所の運用方法等から見直しを行い、医療廃棄物の一つである尿カテーテルは分解せずに燃えるゴミとして廃棄できるようになった(運用は10月から)。このことにより訪問看護師への感染の危険性が減ることになる。また、ステッカーと医療廃棄物排出者の登録を廃止した。このことにより業務が軽減し、利用者へのケアの時間を有効に使えることになる。協議の時間を設けていただき、また運用を改正いただきありがとうございました。

会長)

訪問看護ネットワーク部会とごみゼロ推進課の尽力により、現状に即した形に変更された。

【質疑応答】

ヘルパーネット部会)

コロナウイルス感染者のごみはどのように処理をしたらよいか。燃えるゴミでよいのか。

訪問看護ネットワーク部会)

本人の感染性が無くなったことを確認後、3日間程度経ってからその後は、普通に燃えるゴミとして廃棄してよいと思う。

- ・コロナ感染状況に関する情報共有

会長)

全国的には新規陽性者数は徐々に減りピークアウトに向かっているが、安城市は昨日の新

規感染者数は49人でまだピークアウトしていない。現在の状況について、特に病院は重症者が増加しており大変だと思う。病院部会（更生病院）より情報提供をお願いします。

病院部会)

現在把握しているコロナ感染状況等についての情報は次の通り。

- ▶ 愛知県内のコロナ感染者の療養先
 - ・病院（入院）・・・約1,000名
 - ・宿泊施設・・・約800名
 - ・自宅・・・約13,000名
- ▶ 更生病院でのコロナ感染者用の病床数
 - ・重症用・・・6床
 - ・中等症から軽症用・・・11床
 - ・現在は半数が埋まっているが、入院患者数は徐々に減少してきている。
 - ・高齢者の感染者は減っており40～50代が中心。
- ▶ 更生病院での検査（数）
 - ・8月の最終週は陽性率が2割（検査数は約300件）。医師会に協力いただいている。
 - ・徐々に減少している。
- ▶ 予定の手術
 - ・更生病院は延期や制限はしていない。
- ▶ ワクチン接種
 - ・更生病院では安城市内の高校生を対象にしたワクチン接種を9月17日から開始。
 - ・愛知県の大規模接種会場では今週から妊婦に加えて産後1年の方とそのパートナーにも対象を拡大した（9月19日まで）。

医師会部会)

医師会ではワクチンの集団接種と個別接種でなるべく早く接種が受けられるよう進めている。他市よりスムーズ。検査は抗原検査とPCR検査を組み合わせながら対応。休日診療所での発熱患者の抗原検査では、8月は3割近くが陽性。今は落ち着いてきたような印象はあるが、まだ収束にはいかないのが長期戦となることもふまえてがんばっている。

【意見】

会長)

昨日の情報では、安城市のワクチン接種は他の自治体に比べて非常に進んでいるとのこと。10代でも1回目を40%、2回目を10数%の方が終了。市のワクチン接種計画によると順調に進めば10月末で希望者の接種が終わる見込みになっており、市の接種会場や医療機関においても予約枠に少しずつ余裕が出てきている。周りに予約が取れないという方がいたら、この状況をお伝えいただければと思う。

最近の感染の中心は若年層に移っていると言われているが、ブレイクスルー感染なども出てきており、高齢者と関わる皆さんは苦労されていると思う。そのあたり、意見がありましたら。

ケアマネット部会)

ケアマネとしての課題。施設で陽性者が発生した時、その施設ができなくなる。その際他の施設を利用したくても「陽性者が発生した施設を利用していた方は利用させられない」と断られる場合があり対応に困る。意見を伺いたい。

【意見】

(なし)

会長)

リスク管理の話にもなるため結論を出すのは難しい。ワクチンができて終息していくことを期待していたが、変異株に対してワクチンが有効なのかなど色々な問題が出てきて、この状況がいつまで続くのかが本当に分からない中での対応になっていくと思う。何かあったらこの推進会議に議題として挙げていただき、引き続き情報共有していけたらと思う。よろしくをお願いします。

連絡事項

事務局)

- ・在宅医療介護連携推進のための研修会、検討テーマの進捗状況について（資料4）

昨年の推進会議で安城市の看取り体制の目指す姿を「本人が望む場所で自分らしく最後まで今を生きる」として安城市版看取り体制プランを立案した。今年度は各部会の議論を積極的に進め研修計画と検討テーマに入れていただき、共通目標である看取り体制の構築に向けて計画を実践していただいている。半年が過ぎますので、進捗状況の確認を。研修計画の日程が決まり次第研修連絡票の提出をお願いします。

- ・地域包括ケアフォーラム中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としたが、研修会などに形を変えて開催することを検討している。決定次第報告する。

- ・10月13日開催 Zoom配信「安城地域連携心不全セミナー」（資料5）

- ・10月27日開催 Zoom配信「これだけは知っておいてほしい排泄ケアの基礎（仮）」リハネット部会による研修。詳細は後日メールにて案内する。

今後、他部会への研修案内等がある場合は個別に対応するので高齢福祉課まで連絡を。

次回 令和3年10月21日（木）午後1時30分～3時 社会福祉会館 会議室
開催方法などに変更がある場合は決まり次第連絡